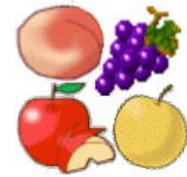


平成26年度 果樹情報 特別号

～ ももせん孔細菌病の防除対策について ～

(平成26年6月10日)



福島県農林水産部農業振興課

ももせん孔細菌病の発生量が増加傾向にあります。防除対策を徹底しましょう。

1 現在の発生状況 (平成26年6月9日付け病害虫発生予察情報 注意報第2号)

福島地域、伊達地域では、5月下旬の春型枝病斑の発生ほ場割合が平年より高く、6月に入ってから、新梢葉の発生ほ場割合も平年よりかなり高い状況となっています。また、中通りの他地域や会津地域でも春型枝病斑と新梢葉での発生が確認されています。

病害虫の発生予察情報・防除情報

病害虫防除所のホームページに掲載していますので、参照してください。

<http://www.pref.fukushima.jp/fappi/>

農薬の散布は使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。

2 今後の防除対策

6月5日には、梅雨入りが発表され今後風雨により、発生量がさらに増加することが懸念されます。このため、以下により徹底した防除を実施しましょう。

なお、せん孔細菌病は、薬剤散布だけでは発生を抑えることが難しい病害ですので、耕種的防除と組み合わせて**病原菌の密度を常に低い状態に維持する**ことが、本病を防除する上で重要なポイントとなります。

(1) 耕種的防除

前年の秋に枝(新梢)に感染した病原菌は、感染部位に潜伏した状態で越冬します。

その後、翌年の開花期頃(4月中～下旬)、気温の上昇とともに潜伏していた枝部付近に春型枝病斑(スプリングキャンカー)を形成し、これが本病の発生を大きく左右する重大な1次伝染源となります。この枝病斑を園内から除去し、病原菌の密度を下げることで、以後の本病の発生量を大きく抑制することができます。感染が続く7月頃までの間は、徹底した除去を心掛けましょう。

また、初期の症状として、枝病斑の周囲の葉や果実に集中して発病が見られるようになります。これらの発病葉や発病果は2次伝染源となりますので、枝病斑と併せて除去しましょう。

なお、除去した枝等は、必ず園の外に搬出し土中に埋却する等適切に処分しましょう。



図1 春型枝病斑
(スプリングキャンカー)



図2 せん孔細菌病の発病葉と発病果実

(2) 薬剤防除

本病の病原菌は雨滴に混じって分散し、これに風が伴うと広範囲に発生が拡大します。今後、降雨（風が伴う場合は特に注意）を重ねるごとに、春型枝病斑や発病葉、発病果実などの伝染源から感染が拡大していきます。

各地域の防除基準に基づき、予防的散布を基本に、降雨の前には必ず薬剤散布を実施するよう心掛けましょう。また、薬剤の散布間隔（10日ごと）が開かないよう十分注意するとともに、10a当たりの規定散布量（スピードスプレーヤの場合300リットル）を遵守しましょう。

なお、耐性菌出現の危険性を回避するため、同一薬剤の連用は避け、ローテーションによる散布を心掛けましょう。また、急激な雷雨や降雨後は、必ず園内を観察し発病の有無を把握するよう努めましょう。

(3) 有袋栽培

袋かけは、果実への感染を防止する効果が期待できますので、発生が多い園地では、まだ感染していない果実を守るためにも、有袋栽培を検討しましょう。

なお、袋掛けの作業に当たっては、事前に被袋日を決め被袋直前には薬剤散布を行う等、計画的に作業を進めましょう。

(4) 防風対策

本病は、風を伴う降雨により感染が助長されます。

風当たりの強い園では、防風ネットや防風林による防風対策が有効ですので、設置を検討しましょう。

(5) 排水対策

園内の停滞水などの過湿条件では、葉の気孔が開き、ここから病原菌が侵入して急激な感染を引き起こす要因となりますので、排水対策を徹底しましょう。

また、肥培管理を徹底し、適正な樹勢を維持することにより病害に強い健全な樹づくりを心掛けましょう。

(6) その他の対策

現在、あかつきでは硬核期に入っています。せん孔細菌病の発生がみられる園では、仕上げ摘果終了時点での着果量を例年よりやや多めとしましょう。

なお、多めに残した果実は、硬核期終了後に修正摘果で対応することとし、果実感染による生産量の低下を防ぎましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 技術革新支援担当 TEL 024(521)7339
(以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください。)

URL：<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html>

ふくしま新発売：以下のURLより最新の農林水産物モニタリング情報、イベント情報等をご覧ください。

URL：<http://www.new-fukushima.jp/>